

たねまきカフェ はじめました

●政治について●

「政治」…親しみにくい、ややこしい、日常生活と関係ない、信用できない…思い浮かべるのはこんなかんじ。首相の名前もすぐ忘れるし、政党とかも選挙の時にちょっと考えるくらいで、あまり政治に関心を寄せたことがありませんでした。3.11 までは。それは必要がなかったということで、ある意味とても幸せだったのかもしれませんが。でも原発の事故、秘密保護法、安保法成立、マイナンバー制度、TPP…ここ最近加速してどんどん危険な方向へ引きずり込まれているという危機感があります。

私たちは普段あまり周囲の人たちと政治の話をしません。児童館や公園で話すママさん、学校の保護者同士、政治の話はタブーとまではいかないものの、話題に上がりにくい。話題にしたところで面白くないし、そこまでの関心がなかったり。関心があればあったで意見が違うと友人関係がぎくしゃくするかもしれないし。でもたまに、ニュースやドキュメントでヨーロッパの人たちが、政治についてのインタビューに生き生きと答えていたり、意識や関心の高い様子を見ると、明るくて、やる気があって、かっこよくて、少し羨ましくなります。政治に対するイメージも関わり方も日本人と違う気がして…なぜだろう？

もしかしたら、私たちは知らず知らずのうちに、政治に関心をもちにくいようにしむけられているのかも…教育やメディアなど社会の仕組みを通して…最近そう思うことがあります。忙しくて新聞やニュースさえ見る暇がない、疲れた時は楽しいバラエティ番組を見てゆっくりしたい、という人はたくさんいると思います。私もそう。でもそれって、政治家や上で世の中を操っているいろいろな権力の思うつぼなのかも…。特に最近はTVやラジオでは政権にとってマイナスになるニュースは報道されなくなってきています。知っておくべき大事なことなのに、自分で求めて探さなければわからないことが増えています。

●ひとりひとりが●

もし日本が1つのクラスだったら…、学級委員に学級運営を任せっぱなしにしていたら、学級委員の独裁になりかねない。その人が偏った考えを持っていたり、差別的だったりしたら大変。みんなが生き生きと学校生活を送れる楽しいクラスにするためには、みんなが学級運営に主体的に関わっていくことが不可欠ですね。

私たちの日本、私たちの政治、私たちの憲法、私たちの民主主義。

文芸評論家の加藤典洋さん（近著に「戦後入門」）に、師匠である鶴見俊輔さん（ベトナム反戦運動家、9条の会発起人の一人）についてのお話を伺います。信濃追分9条の会主催。

＊「ひだまりカフェ」月1回 元大学教授の坂東行和先生のお宅（軟茶亭 追分）で時事問題の勉強会をしています。政治経済についてわからないことなどどんどん質問しちゃいましょう。連絡先：小西（090-1869-6031）

●本の紹介●

どこかへ出かけられなくても、本から得られることもたくさんありますね。たねまきカフェ進行役の尾崎さんにおすすめの本を紹介していただきました。

📖「日本人は人を殺しに行くのか」伊勢崎賢治著 朝日新聞出版

政府が安保法制の必要根拠とする安全保障環境の変化と脅威論についてその実体のなさを具体的、現実的に批判しています。国連軍を指揮して世界の紛争を経験してきた著者の指摘はリアリティにあふれています。武力を使わずに日本が、紛争を解決するための行動提言もされており、賛成派の人と議論する時にもとても有用な本だと思います。

📖「資本主義という謎」成長なき時代をどう生きるか 水野和夫 大澤真幸 NHK 出版新書

安倍政権は、安保法制とともにアベノミクスも推進しています。これからの時代にこの経済政策は有用なのでしょうか。水野氏は証券会社のアナリストという地位にあった時に数理論を駆使する今の経済学の限界性を感じて、経済学を歴史的な視点から再構築されている方です。そこから、資本主義が歴史的な役割を終えつつあり、世界は経済的にも歴史の大きな転換点にある事が見えてきます。著名な社会学者である大澤氏との対談なので、経済書でありながら、数学音痴にも理解可能です。決してやさしい本ではありませんが、これからの自分の生き方や暮らしを考える時の大きな指針を与えてくれる本だと思います。

📖「絵本クマのプーさん」 A.A. ミルン著 E.H. シェパード挿絵 岩波書店

クマのプーさんは、ディズニーと思っている方もいると思いますが、作者はイギリス人で挿絵も原著とは違います。子供時代に夢中になって読んだのは、こちらでした。アメリカナイズされないイギリス流のウィットやユーモア、皮肉にあふれていて、とても想像力がふくらむ童話です。絵も僕は趣があって大好きです。是非、こちらの方を子供たちに読んで欲しいです。少し大きくなったら、岩波少年文庫のクマのプーさんにも夢中になりました。読書習慣は岩波少年文庫の多くの物語で養われたと言っても過言ではありません。宮崎駿さんも同じ経験があるそうです。⑦

自分の頭で考えられるようになるには、読書が最良の方法です！



ファッションや音楽に対するように、胸をはって、愛をもって、政治に向き合っていけたら…人任せでなく、ひとりひとりが、知る努力を、考える努力を、しなければいけない時になっているのだと思います。

子どもたちの未来も地球の未来もその先にあるのだから。

●それぞれができることも●

そうは言っても、家事、育児、仕事に追われて何にもできないことも多くて…そんな話を佐々木都さん（経験豊か、87歳になっても現役で今この時を生きる！）にしたところ、はっとするお言葉をいただいた。

「忙しくて何もできないって、何をしたいの？何もできないのはしないだけじゃない？自分ができないというのを人や物事のせいにしてることがあると思うの。天気だったり、車が運転できないから、子どもが病気だから、とか。できない時はしょうがないってあきらめる。くどくどしてたら晴れないでしょ。できることにかえればいい。

大きなことでなくていい。たとえば自分が感銘を受けた新聞記事を友達にコピーして渡せばいい。一人は一人に伝えればいいのよ。やれば、やった、できたと思うから。」

旅館業に家事をこなしながら、社会的な活動もなさってきた都さんの言葉だけに、胸に落ちました。さて、私たちは何ができるだろう。何がしたい？

●たねまきカフェ●

気軽に政治や社会のことを学びたい、話したい、そんな場を作りたい、との想いから「たねまきカフェ」をはじめることになりました。第1回目は「安保法成立 これからどうなる？」をテーマに10/23に開催。乳幼児を連れて11人のママさんが参加して、にぎやかな充実した会になりました。会では尾崎充さん（立科在住、果樹農家）が中心となって解説、進行してくれます。とてもわかりやすい！と好評でした。今後月1で開きます。一緒にはじめてみませんか？（詳細はイベント案内をご覧ください）

また、日本全国いろいろなところで市民の自発的な活動が生まれています。デモ、憲法カフェ、勉強会などなど。この近隣でもいろいろな催しがあります！足を運んでみませんか？

＊「憲法カフェ」11/15（日）13:30～16:00 エコールみよた 保育あり

若手女性弁護士の小池さやかさんと一緒に憲法を学びます。新夫人の会佐久支部主催。

＊「加藤典洋さんお話し会」11/22（日）17:00～19:00 カフェごんざ 参加費 500 円